

平成24年1月31日開催

石狩市教育委員会会議（1月定例会）資料

<協議事項>

- 1 「(仮称)厚田区の学校検討会」について・・・・・・・・・・P1～P5

<報告事項>

- 1 平成23年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」実施報告について
・・・・・・・・・・P6
- 2 今後の学校給食の食材調達等について・・・・・・・・・・P7～P8

石 狩 市 教 育 委 員 会

＜協議事項 1＞

『(仮称) 厚田区の学校検討会』について

□目的

現在、厚田区の小学校児童数は 3 校 78 名（厚田 43 名、望来 12 名、聚富 23 名）、中学校生徒数は 2 校 56 名（厚田 28 名、聚富 28 名）となっている。今後、将来的に平成 30 年には、厚田区全体で児童数 46 名（厚田 22 名、望来 12 名、聚富 12 名）・生徒数 44 名（厚田 31 名、聚富 13 名）と見込まれ、学校の小規模化が避けられない状況にあり、将来的に良好な教育環境の確保が懸念される。

また、小・中学校を各 1 校に集約する場合、学校施設は災害時の避難所機能を有することから、安全・安心な立地環境の確保など、多面的に検討する必要がある。

このようなことから、保護者を中心として、地域の方から意見を聞く場を設け、仮に統合とした場合、時期や場所などをどうするのか、厚田区の学校の望ましいあり方について検討しようとするものである。

- ・平成 24 年度中に、一定の方向性を出すことを目標とする。

□メンバー構成（案）

- ・保護者代表（各校の P T A 会長、副会長、保育園 2 園） 1 0 名
- ・学校関係者（各校の校長・教頭） 5 名
- ・地域代表者 厚田区地域協議会から 2 名

平成23年度第9回石狩市厚田区地域協議会議事録（抜粋）

【日 時】 平成23年12月19日（月） 18:30 ～ 19:10

【場 所】 厚田保健センター 多目的ホール

【出席者】 11名（15人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	河 野 すみれ	○	委員	前 田 和 也	○
副会長	吉 田 一 男		委員	柴 田 肇	○	委員	松 浦 百合江	○
委員	有 田 修 治	○	委員	高 橋 敬 二	○	委員	美 馬 康 子	
委員	大 黒 利 勝	○	委員	中 井 寿美子		委員	盛 重 栄 司	○
委員	加 藤 美津子		委員	平 賀 敏 子	○	委員	渡 邊 教 円	○

※正副会長を除き、あいうえお順

本庁 ～ 教育委員会 三国部長・上田課長

企画課 松田課長・森本主査

支所 ～ 尾山支所長・成田課長

事務局 ～ 高田課長・栗谷主査・渡部

（地域振興課）

【傍聴者】 1名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

- ・厚田区における今後の学校のあり方について
- ・これからの地域づくりのあり方について

4. その他

- ・次回の日程について

5. 閉会

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

・厚田区における今後の学校のあり方について

石狩市教育委員会より厚田区における今後の学校のあり方について、これから協議検討をする組織づくりに向けた地域協議会への協力依頼がありました。

佐藤会長： それでは、報告事項に入ります。高田課長よりお願いします。

高田課長： 報告事項につきましては、2点ほどございます。今日は生涯学習部より三国部長、それから上田総務企画課長、企画経済部企画課から松田課長と森本主査が来て頂いておりまして、次第に載っておりますけれども、生涯学習部の方からは、厚田区における今後の学校のあり方について、企画経済部からは、これからの地域づくりのあり方について、それぞれより報告して頂きたいと思います。よろしくお願いします。

上田課長： お晩でございます。石狩市教育委員会総務企画課長をしております上田と申します。よろしくお願いします。今回、報告事項ということで、厚田区における今後の学校のあり方ということで、少し時間を設けて頂きました。特に資料はご用意しておりませんので、口頭でお話をさせて頂きます。前段、聚富中学校が現在生徒 29 人いるのですが、将来さらに減少が見込まれるということで、早ければ平成 25 年度に複式化という可能性が生じていることから、先般、11 月 29 日ですけれども、聚富小中学校の保護者の方に声掛けをして、意見を聞く場、機会を設けさせて頂きました。その際には、地域の方も 5 名ほど出席しておりまして、保護者の方は 12 名来て頂きました。その中で、聚富小中学校については併置校ということで、兄弟で小・中に通われているという背景もあって、複式化に対する不安というのがありますが、現状の学校運営でそのまま続けてもらいたいというのが、総じた意見でございました。ただ、厚田区全体での話になったときには、また違う場での話が必要ということで、そういう意見を聞く場を設けて頂くことについては、今後もそういう場を設けて頂きたいという中で、厚田区全体の学校のあり方についての議論の場があればというふうなお話を頂きました。そういったところを受けましての話なのですが、現在、厚田区の小中学生合わせて 144 人いるのですが、平成 30 年には、小中合わせて 90 人という児童生徒数に見込まれますが、4 校全体になります。そういった学校の小規模化が見込まれる中、子ども達にとって良好な教育環境を確保するのが懸念されます。また、先般の震災の被害を受けて、学校の災害時の避難所機能のことですとか、安全安心な立地環境、そういった事も多面的に検討する必要があるのかなということで、こういった背景ですから、保護者の方を中心にして、地域の方から意見を聞く場を設けたいということで、今回お話をさせて頂きました。保護者については、各校から PTA 会長、副会長で 8 人ぐらい。また、保育所の保護者の方の意見も将来的な話ということで、お伺いしたいと思っています。学校の関係者として校長先生、教頭先生、それに加えて地域協議会からも二方程度検討の場に入って頂きたいということで、本日、参った次第でございます。

佐藤会長： はい、ありがとうございます。今、報告がございましたように厚田区の将来を含めたその学校の再配置といいますか、そういうことも考慮しながら、検討する場を設けたいというご意見です。この件に関しましては、今日は一応報告事項ですから、議論する場ではございませんので、教育委員会の方ではそういうことを考えているということで、地域協議会でもそれに対して協力していくということでよろしいのではないかとこのように思います。何か検討ではないのですが、この場ですからご意見ある委員の方がおりましたら、どうぞお願いします。特にお子さんを持っている父兄の方は、これは人ごとではございません。だからと言って、地域の私たちもこれは当然人ごとには思っておりませんけれども、特に差し迫った問題としては、父兄の方は大変な問題だと思います。ご意見があれば、ど

うぞお願いします。

柴田委員： 子どもはとくに卒業していないのですが、今お話をお聞きしましたら、平成30年で小中合わせて90名というお話でしたので、あと7年後ですね。さらに10年後には、おそらくもっと減るだろうし、最終的に15年、20年経ったときには、もう子どもがいなくなるのかなと、こんな心配もしながらお聞きしたのですが、例えば同じような悩みを抱えている地域が、全国的に見てもいろいろたくさんあると思うのですが、そんな中で、それを何とかいい方法でそれらを解決していく、あるいは、極端に減っていくといったことを防ぐための何か方策等、成功されている地域の状況なんかもちょっと調べて、そういったことも報告頂ければ、またおそらく、今後議論していく中でいいものが出てくるのかなと、ちょっとお話を聞いて思ったのですが。そんなことも、もし大変お忙しいでしょうが、そんな成功例がございましたら、お話を材料として提供して頂ければいいかなと感じがしました。

佐藤会長： ありがとうございます。そういう会が設置されましたら、そういうところではぜひ、柴田委員がおっしゃったようなデータを出して頂くことでよろしいですか。

三国部長： これからそういった議論が始まりますから、そのことも踏まえて資料をお出ししたいと思っています。地域が、これは学校だけの問題ではないという可能性も、将来的なことを考えてみると、実は背景にあると思っております。本来は、それぞれの地域が抱えている課題そのものの少子高齢化のまさに学校の面だけのテーマを我々は持ってきていますけど、実はそれは高齢者だけの集落になっていくというのも背景がくっついておりますので、そういうこともあって、ぜひともこの地域協議会の方にも参加して頂いて、一緒に議論がやはり望ましいのではないかと我々はこういったことで、ある意味メンバーが重複して頂いて、議論をしようと思っておりますので、いろいろとそういったことを、その都度その都度、資料等、また、調査してほしいということがあったら、ご連絡頂ければというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

大黒委員 ちょっとよろしいでしょうか。私、根室の歯舞中学校にいたことがあって、根室半島の友知から歯舞、瑠瑠瑠とあって、本当に浜益と同じような距離なのですが、そこは生徒数が少なく、一つになり、歯舞小中学校を造り、来年オープンするのですが。歯舞中学校にありましたので、教育長とも繋がりがありますので、その経過とかいろいろと勉強が出来る良いきっかけなので、私も勉強しようと思っているところです。

佐藤会長： はい、ありがとうございました。相当広い地域ですよ。また、いろいろとご意見を聞かせて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

河野委員、何かご意見ございませんか。

河野委員： 私は、望来に住んでいまして、子どもが高校・中学校・小学校に1人ずついるのですが、望来中学校が閉校になって、厚田に通わせてもらうようになる前の話し合いとかも、10年ぐらい前から始まったのだと思うのですが。まだ、中学校に上がる5年ぐらい前かな、3・4年前かな。まだちょっと手前という段階から話し合いに参加させてもらったのですが、その頃は、中学校のことが良くわからなかったもので、皆さんの言っていることを聞いているだけで、みんながいいっていう方でいいのかなというぐらいしか思っていな

かったのですが、話やら何やらあって、望来中学校が無くなって、厚田中学校に行くことが決まった時に、周りの皆さんが言っていたことは、会長、副会長クラスの人達の3地区の集まりの話し合いはあったのですが、「全員まとめた厚田区全体の話し合いがほしかったね。」という話が、後になってから随分聞かれたのです。望来だけの話し合い、聚富だけの話し合い、厚田だけの話し合いは何度もあったのですが、全体としては、会長、副会長だけだったのはありました。それじゃなくて、全部の通っている人で、これから通う予定の人たち対象の「全体の話し合いがあったら、いいな。」って言うのを聞いています。「よその地域は何て言っているのかな。」とか。会長クラスでは、伝わっているのでしょうけど、「下までは伝わっていない。」っていうことをみんな言っていました。

佐藤会長： 大変貴重な意見ありがとうございました。という意見がございました。よろしくご配慮のほどお願いします。

あと、よろしいですか。

それでは、市の教育委員会からそういう方向性がありますので、地域協議会も、ぜひ皆様方の協力の下に、地域全体として学校のあり方の検討に入ると言うことでございます。

【全員了承】

．．．．． 以下省略 ．．．．．

<報告事項 1>

平成23年度 石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」実施報告について

アンケート集計結果

1. 日時

平成24年1月10日（火）13:30～

2. 会場

りんくる3階 視聴覚室 小学校
301会議室、302会議室 中学校

3. 内容

講座名「よりよい学級経営を目指して」 小、中別に開催



小学校グループ討議



中学校グループ討議

受講人数 小学校 32名 アンケート回収数 32枚
中学校 23名 アンケート回収数 23枚

質問項目	回答			
	考え		小	中
(1) 受講内容は満足できるものでしたか	4	とても当てはまる	34.4%	69.6%
	3	当てはまる	56.3%	26.1%
	2	やや当てはまらない	6.2%	4.3%
	1	当てはまらない	3.1%	0%
(2) 教育実践に役立ちそうですか	4	とても当てはまる	46.9%	73.9%
	3	当てはまる	50.0%	26.1%
	2	やや当てはまらない	3.1%	0%
	1	当てはまらない	0%	0%
(3) 期日は参加しやすいものでしたか	4	とても当てはまる	18.8%	39.1%
	3	当てはまる	46.9%	47.9%
	2	やや当てはまらない	21.8%	8.7%
	1	当てはまらない	12.5%	4.3%